

## 番組活用案

とよ とみ ひで よし

# 豊臣秀吉

～天下統一をするために  
どのようなことをしたのだろう～



## 1 ねらい

豊臣秀吉による検地や刀狩りなどについて調べ、戦国の世が統一された様子が分かるようにする。

## 2 授業の流れ

### 1 導入・視聴前のポイント(10分)

・検地の様子を描いた絵をみて、どのようなことをしている場面なのかを考え、話し合い、なぜ、このようなことが必要だったのかを考える。

★絵を細かくみることで

- ・刀を腰に差した武士のような人が中心になり作業をしていること
  - ・田畑の面積を調べることでどのような良い点があるかを考えること
- などの点について注目させたり、考えたりするようにする。

### 2 学習問題の提示

「豊臣秀吉は天下統一をめざしどのようなことをしたのだろう。」

### 3 番組視聴 ワークシート1(20分)

・番組を視聴し、豊臣秀吉が天下統一をめざしどのようなことを行ったかワークシート1にメモする。

★織田信長を倒した明智光秀を討ち、天下統一へ向けて戦いを進めた。

★天皇の政治を助ける関白になり、その地位を利用し、大名に命令をした。

★太閤検地を行い田畑からのどれだけの年貢が取れるかを明らかにした。

★刀狩りをして農民から武器を取り上げ、一揆などの反抗ができないようにした。

### 4 情報整理 ワークシート2(10分)

・ワークシート1を基に、「ドキリ・ポイント」を手がかりにして、豊臣秀吉がどのような考えをもち、天下統一へ向けて様々なことをしたのかを考える。

★力が強いだけではだめ。天皇から関白として認められ、他の大名に命令できる立場になることが必要。

★検地を行い年貢がどれだけ取れるか決め、農民から年貢を取れる仕組みを作る。

★刀狩りをして農民から武器を取り上げ、一揆などで反抗できないようにする。

### 5 まとめ ワークシート3(5分)

・学習課題についてのまとめをする。

・次時、徳川家康について学習することを予告する。

# 3 評価のポイント

- 豊臣秀吉の検地や刀狩りなどの具体的な様子を調べて、秀吉が天下統一へ向けて行った様々なことの意味を考え、武士による支配の仕組みをつくったことが分かり、ワークシートにまとめている。  
(知識・理解…主にワークシート3)

## ワークシート例



とよ とみ ひで よし 豊臣秀吉 ~天下統一をするために  
どのようなことをしたのだろう~

くみ なまえ

### 学習課題

豊臣秀吉は天下統一をめざしどのようなことをしたのだろう。

1 豊臣秀吉が天下統一に向けて行ったことをメモしよう。

- ・明智光秀を討ち、織田信長の後をつぐ大名となった。
- ・大阪城を築き自分の拠点とした。
- ・天皇から関白として認められ、その地位を利用して大名たちを従わせた。
- ・検地を行い田畑の面積を調べ、農民が年貢を払う仕組みを作った。
- ・刀狩りを行い農民が武器をもつことを禁止した。
- ・北条氏を滅ぼし天下統一をなしとげた。
- ・朝鮮半島に2度にわたり兵を送った。
- ・秀吉が病気で亡くなった後、豊臣家は徳川家康に滅ぼされた。

2 豊臣秀吉がどのような考えをもち、天下統一へ向けて様々なことをしたのだろうか、秀吉になったつもりでまとめよう。

天下統一をするためには、戦いに強いだけではだめだ。  
天皇から関白として認められ、その地位を利用して大名たちを従わせるようにしよう。また、武士と農民を分け、農民は農業をしっかりできるようにし、検地によって正確に分かった田畑の面積に応じて年貢を払ってもらおう。また、農民がもっていた刀などの武器は刀狩りで取り上げ、一揆などの反抗をできなくしよう。  
天下を自分が統一し、武士が農民などを支配する仕組みをしっかりつくることで、結局、戦いがなくなり、みんなが安心してくらす世の中をつくることができるだろう。



3 学習課題についてまとめよう。

豊臣秀吉は関白としての地位を利用して大名たちを従わせ領地を広げ、北条氏などを滅ぼし天下統一をなしとげた。  
また、検地や刀狩りなどで武士が農民を支配する仕組みをつくり、戦いのない世の中をつくらうとした。

